事業番号	02 09 02	**事業改善シート（令和８年度実施事業分）**	□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検

事業名	**鉄道振興対策事業費**	部局	企画振興部 交通政策局	課・室	交通政策課
		実施期間	S42 ～	E-mail	kotsu @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

・県内地域鉄道事業者は、新型コロナウイルス感染症の影響から回復しつつあるものの、コロナ禍前の利用者数には戻っておらず、依然厳しい経営環境にあることから、行政として、安全・安定運行の維持のための設備投資等への十分な支援が必要。
・北陸新幹線については、大阪までの全線開業によって整備効果が完全に発揮されることとなり、県民の利便性向上に加え、経済・観光等に大きな効果が期待されるが、敦賀～新大阪間は未着工の状態。

2 事業目的

・鉄道の安全・安定運行を維持する等の取組を支援し、県民の移動と地域間交流の手段を確保する。
・県民が北陸新幹線の開業効果を享受するため、北陸新幹線の早期全線開業を促進する。

3 事業目的を達成するための取組

①県内鉄道における安全・安定運行の維持と利便性の向上
・当初予算のとおり

②北陸新幹線の建設促進
・当初予算のとおり

③特別高圧受電事業者電気料金負担軽減事業
・原油・原材料価格の高騰等による経費負担を軽減するため、特別高圧契約の地域鉄道事業者に対し、電気の使用実績等に応じた支援金を支給

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度 実績	R6年度 実績	R6年度 推移	R7年度 実績	R7年度 推移	R8年度 目標値	達成状況	目標値設定理由
①-1	鉄道利用者数	千人	58,218 (R4実績)	61,546 (R5実績)	↗	64,260 (R6実績)	↗	65,410		県民の移動と地域間交流を支える鉄道の活性化を図るため、鉄道の利用者数を指標として設定し、利用状況を踏まえて目標値を設定 ※R8年度６月補正予算シートに記載したR7年度実績数値について、引用元データが訂正される見込みであるため、修正しました。（修正前：67,041、修正後：64,260）
①-2	鉄道施設の老朽化、設備不良に起因する重大事故の発生	件	0	0	→	0	→	0		鉄道の安全・安定運行を維持するため、重大事故の発生件数を成果指標に設定し、発生させないよう目標値を設定

5 本事業が貢献する総合５か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近３か年の状況						目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値
1-4①	公共交通の充実をはじめ移動の利便性・快適性の向上	☆公共交通機関利用者数	千人	2022 (R4)	82,180	2023 (R5)	87,086	2024 (R6)	91,092	2026 (R8)	100,000

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額						決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	合計（予算現額）	うち一般財源		
R8年度	156,707	857,069	14,207	**7,084**	1,027,983	388,924		4.0
R7年度	714,413	644,224	89,078		1,447,715	401,482	1,154,506	4.0
R6年度	64,583	474,243	669,893		1,208,719	464,758	476,303	4.0

事業番号	02 09 02	**細事業一覧（令和８年度実施事業分）**	□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検			
事 業 名	**鉄道振興対策事業費**	部局	企画振興部 交通政策局	課・室	交通政策課	

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
1	**鉄道振興対策事業費**	1,206,919 千円	1,445,915 千円	予算現額 1,026,183 うち今回補正額 7,084 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	地域鉄道安全性向上支援事業補助金	補助金	鉄道路線の安全性向上のため、必要な設備整備に対して支援 補助額：485,259千円（PCマクラギ化、踏切保安装置更新、車両更新４両分等）
2	利用者にやさしい駅舎の整備事業補助金	補助金	鉄道駅のバリアフリー化を推進するため、事業者が実施するスロープ設置等の事業に対して支援 補助額：1,262千円（内方線付き点状ブロック設置）
3	地域鉄道交通系ICカード導入支援事業補助金	補助金	鉄道の利便性向上・利用促進のため、交通系ICカード導入に対して支援 補助額：191,043千円（２者）
4	中央東線高速化促進・定時性確保広域期成同盟会負担金	負担金	中央東線の高速化促進・定時性確保、利便性向上、沿線地域の振興を目的に関係団体と連携・協力し事業を実施 総会・要望活動の実施：各１回
5	大糸線利用促進輸送強化期成同盟会負担金	負担金	大糸線利用促進輸送強化期成同盟会の構成員として、要望活動、啓発、広報、利用促進活動を実施 総会・要望活動の実施：各１回
6	大糸線活性化協議会負担金	負担金	大糸線活性化協議会の構成員として、啓発、広報、利用促進活動を実施 総会開催：１回 活性化事業の実施：定期券購入費助成10名以上、企画列車３回運行等
7	大糸線利用実証事業	負担金	ＪＲ大糸線の持続可能な路線としての方策を検討するため、沿線市町村とともにバス増便及び乗降調査を実施 鉄道・バス便数：18便（2023年度）→24便（2026年度）
8	大糸線協議会（仮称）負担金事業	負担金	大糸線利用実証事業を踏まえて、沿線市町村とともに大糸線の持続可能な路線としての方策を検討するため、協議会を新たに設置し、議論を実施 協議会の実施：４月中に１回実施し、その後は議論の状況を踏まえ適宜実施
9	しなの鉄道緊急安全対策支援事業補助金	補助金	脱線事故を踏まえ、しなの鉄道が緊急安全対策として実施する修繕に対して支援 補助額：259,333千円（軌道・土木・電気・信号通信設備等）
10	特別高圧受電事業者電気料金負担軽減事業	補助金	原油価格高騰等の影響による経費負担を軽減するため、特別高圧を契約する地域鉄道事業者に対し、電気の使用実績等に応じた支援金を支給 補助対象：２者（今回補正は１者）、補助額14,207千円（うち今回補正分7,084千円）

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
2	**北陸新幹線建設促進費**	1,800 千円	1,800 千円	予算現額 1,800 うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	北陸新幹線建設促進同盟会負担金	負担金	同盟会が建設促進等に係る国等への要請活動、建設促進に関する調査研究及び広報等を実施 総会開催、要望活動を３回実施

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
3	**しなの鉄道設備投資資金等借入金損失補償**	債務負担行為（元金970,000千円+利息） 千円	債務負担行為（元金1,500,000千円+利息） 千円	予算現額 債務負担行為（元金1,000,000千円+利息） うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	しなの鉄道設備投資資金等借入金損失補償	直接	しなの鉄道の設備投資資金等借入金の金利負担を軽減するため、県が金融機関に対し損失補償を実施 元金1,000,000千円及びその利息に対して、損失補償を実施